六月六日　夕刊

毎日夕刊（但し日曜祭日祝日休刊）
定價　一ヶ月　二十五錢　一部二錢
廣告料　番所相談
發行兼編輯人　半谷政吾
發行所　福島縣平市大町二十三番地
新いわき新聞社

平市街地下の採掘問題

斯界の權威に質した結果
反對答申に決定の模樣

慎重研究討議を重ねてゐる委員會

學者にも地上障害を認られて

平市々街地下の石炭採掘出願に對する諮問答申委員會が斯界の權威者に學的説明を請ひ慎重なる討議を續けてゐることは既報の如く去月末仙台鑛山監督局に地上の影響についての技術的説明と出願處理の意向を打診せる委員の一行は更に元東京帝大教授渡部久吉博士が最近の調査にかゝる文獻にこれを質し鐵道省建設局乘大臣官房研究所技師渡邊貫理博、常磐線湯本、綴驛間の傾域トンネル障害を前記渡部久吉博士と共に屢々踏査されてゐる地震學權威としても知られてゐる那須博士、商工省地質調査所長山根新次理博等に各その專門的説明を求めて歸平、近く重ねて委員會を開き其の結果いよ〳〵最後の態度を決する模樣であるが聞く所によれば仙台鑛山監督局の如きも既往の如く採掘主眼の一點張りではなく所記の各權威者もまた地上障害なしと斷じられざるは勿論、各所に大小被害を受けてゐる鐵道省の調査研究には採掘地點の深度によつて地上の狂ひは保し難く如何に深くとも其の地の質的關係に於て生ずる影響は數年ならずして來たるもの其の以後に於てこれを見るもの及び被害の大小等程度の問題であるを説かれたるものゝ如く從つて委員會の答申案は結局これによるべきものと窺はれ地下採掘反對に決するものと觀られてゐる

九面防波堤先端工事中の災害

石城郡勿來町の九面漁港修築は既報の如く最終に殘した防波堤百卅米の先端十一米を去る三月一日から干潮時毎に施工漸く築殼を終えて來る十日までに完成を見込まれてゐたところ去る三日夜の荒波のため完全に硬化しないコンクリートの結果忽ち破壞されて再工の止むなきに至つた同損害は基礎は動かず上端のみの崩壞なので損害千二、三百圓に過ぎないが竣功は今月末頃になる模樣である

竣功は今月末頃

戰地の便り（下）

平市上平窪出身　根本達夫

感狀を授與され隊長以下の感激

また昨年南寧攻略に參加し此の日〇〇軍司令官閣下より感狀を授與されました。これ偏に銃後各位の日頃神佛に武運長久をお祈り下さる賜と隊長殿はじめ我等一同感謝感激いたして居るもので御座います、今後益々事變處理に微力ながら奮鬪し以て銃後各位の御期待の萬分の一なりとも副たい念願で御座います、今後共御

目的地に無事到着

平市才槌小路出身　久田富雄

謹啓、陳者今回出發の際は御多忙中態々御見送被下なほ種々御配慮を辱ふし且つまた澤山の御芳志まで賜はり誠に感謝に堪えざる次第に候、御蔭をもつて無事表記に到着仕り候間他事ながら御放念下され度候、此の上は一意專心軍務に精勵御奉公の誠を盡したき覺悟に

飼養管理で表彰

石城郡南軍用保護馬の檢定檢査は此ほど植田町で行はれたが飼養管理優良な左記三名小林檢定委員長から表彰された

▲渡邊幸之助（小浜）鈴木孝太郎（後田）森米太郎（岩間）

米穀統制の協議會

十一日平市で

縣主催の米穀統制協議會は來る十一日午前九時から平市國休事務所樓上に石城郡下町村及び平市産業組合長並びに事務主任、農會關係者を招集して統制諸般につき協議する

平署の巡査異動

平署では司法内勤石塚巡査の退職から左記の異動をなす

▲營業の渡部武巡査司法へ特務の田崎新緑巡査營業へ外勤の渡邊儀巡査特務へ三函駐在井上潔巡査澤渡へ鹿島駐在高子與三郎巡査三函へ、澤渡駐在板橋源次郎巡査鹿島へ、外勤の渡邊寅龍巡査赤井へ（以上）

支那單語

相場はどうですかと云ふことをばハンシーツオンマヤンと稱へ、下りましたと云ふを落了でラオラ、この値では本にも足りませんは這價錢不句本でチエーチアチエンブーコウペン

々御一報申上げ皆様の御健勝を常夏の南支の一角より御祈り申上げます　早々

農繁の勤勞奉仕

勿來町小學校では農繁期の勞力不足に對し尋五以上の兒童一千名で學童の勤勞奉仕隊を組織し苗代の害虫驅除その他左記の奉仕をなしてゐるが尚任教員達は來る十三日から廿二日まで小學校ほか三ケ所に農繁期託兒所を開設する

▲害虫驅除四日と七日　出征軍人家族方の整地と田植準備に八日　出征軍人家族方の田植その他に十五日

代用教員の指導講習會

植田方部教育會では淮代用教員指導講習會を昨五日から明七日まで男子師範の長田、女師の岩淵兩訓導及び星錦校長を講師に植田校で開催中だが科目は左記の通り

▲五日午前學級經營　午後修身教育　六日午前算術の實地授業による指導並に算術科の取扱　午後國語教育　七日午前讀方の實地授業による指導並に講話　午後算術の講話（以上）

御庫候、今後共何分の御指導御鞭撻下さる樣御願申上候、先づは御禮かたゝ〳〵御知らせまで申上候、敬具

二百圓寄附

中野勇吉氏から

平市大町中野勇吉氏は今次事變で名譽の戰死をなせる令息喜平曹長の遺志により左記の如く二百圓を寄附す

▲七十圓市銃後奉公會へ、卅圓市隣保驗合、廿圓づゝ愛婦分會國婦支部、鄉軍聯合分會、警防團、小學校基本金等

藤田女校の修旅

初夏の旅

〔第二信〕　專攻科NS生

（三）東京→鎌倉

日本の心臓ともいふべき大都會に私達を乘せた列車は鐵路の上をすべるやうに走り入り東京驛へ着いて見れば賑かなのに私達一行は唯茫然として四邊を見まはし又けたゝましい爆音喚音の中にホームに降り立つて落着きのない態度で乘替への省線電車を待ち豫定通りの列車に飛乘り、ふわりと空に浮んでゐる雲も何時しか過つたと思ふ瞬間列車は矢の樣に進む、大東京の町は私達を見送るが如く後へ去つて行く、列車は南へ〳〵と走るたゞわが四邊の景色にさそはれて座席より知らず〳〵乘り出す樣な有さまでした、下には綠濃き山々の浪が長く〳〵續いたと思ふと家々の軒が目の前に現れ青葉のちらつくのも珍らしい、土手に牛や馬の二、三匹遊んで居るのものどかである。

遠き七百年の歴史を包む鎌倉の山々は眼前に開かれてまだ見ぬ古蹟を夢想に描きつゝ鎌倉驛に下車した。

× × ×

〔第三信〕　本科NW生

（四）史蹟、鎌倉→長谷

ギキーと云ふ音に皆いつせいに汽車より飛び降りた、空はあくまで澄み渡り、日は遠慮なく照りつけて汗が瀧の樣に流れ出す、各班ごとに定めの遊覽バスに分乘した、案内ガールの涼しい聲が耳を打つ、平の皆樣にとゞくが如く…バスガールの說くコブクロ坂を通りお話しでは相當急な坂かと想像してをつたが、案外たやすく行く事が出來た、一同遊覽バスより降りすぐ建長寺に詣でた、兩側には樹齡幾百年か經た杉の木が空高くそびえ立つてゐた、

建長興覺古寺の
山門高き松風に
昔の音やこもるらん

の歌も偲ばれる、一同バスに乘り再び元來た坂を還つて鶴岡八幡宮へ——社前に額いて拜禮、心から出征將兵の武運長久を祈る、

風薫る窓下閑談（六）

滿蓉莊

余の（子規）舊製に『汽車見る〳〵山を上るや青嵐』『山にそふて汽車走りゆく若葉哉』などあり拙けれども參考のため記し置く、又『汽車はるかに若葉の中に隱れけり』少しつゝ汽車隱れ行く若葉かな』なとせんに拙劣は免れ難しと雖も句法は原作に比して少しは勝りたらんか（若し吾を去る四、五尺の内に汽車の通りたる光景を言はんとならば此句とは全く趣を異にせり、斯る狹き處には青嵐は用ゆべからず）俳句を作り俳句を讀み味ふ人々は大に考えなければならぬ言葉であります、

青あらし吹くやすらりと植木賣　一茶

夜の露店でもあらうか、其夜店の一廓に植木賣の一群がズラリと並んで店を張つて居る杉、柏、楓、其他の喬木や灌木類が生々潑溂として並べられて若葉を交錯せしめて居るサッと一陣の青あらしが此の植木の梢をゆるがして吹過ぎた、店頭のカンテラの灯りが明滅して居ると云ふ光景であります、いかにも初夏の夜の街頭が眼前に彷彿します、

東海道五十三次青あらし　洒竹

此の句は明治の俳人大野洒竹先生の句で先生は子規とは別に一流の新派を唱導して明治時代の俳壇に活歩した方ですが何でもなく云ひ捨てた樣の句で大きな景觀をつかんで居ます、汽車で行く東海道では此の光景は感じられません、五十三次の宿々をテクルべきです、故人『成美』の句に

東海道のこらず梅になりにけり

と言ふのがあります、これは東海道の旅がいかにも長閑にのんびりして居る狀景で、書きあらしの句は氣も心もすが〳〵しく如法に輕快な趣きが見えます、

水遊中に轉落死

石城郡磐崎村の上湯長谷安甲生君（六）は去る四日午後三時頃地内溜池で水遊び中誤つて深みに落ち溺死した

病苦で投身自殺

石城郡湯本町の三函洗濯屋の雇人同郡生れ中村辰五郎（二四）は昨五日朝九時頃隣村磐崎の上湯長谷地内貯水池に投身自殺せるを發見され平署の檢視を受けた、原因は病苦から

ホシエス二色シャープペンシル
一本金五拾錢以上
シャープでしたら一流品ホシエスを御指名願上げます。
御進物としては立派な化粧箱を用意して御座います。
代理店　文魁文堂
電話三一三番

農家の友

枝豆の溫室栽培
畝歩當六百圓
（下）

低溫に無肥料で二ケ月間に採收

それは同じ豆科作物であるから根瘤菌を作土の中に繁殖させれば室内の空氣の交換と相俟つて其の枝豆は空中の游離窒素を吸ひ集め肥料の自給自足をするからである、この作物の溫度は前に述べた平均室内二十二度内外でもつて結構と云ふ低溫栽培に適してゐるから日の中は太陽の熱でよろしい夜間だけ少量の保溫燃料を焚けばよい、

◇…肥料…は溫床用として前作の土壤ならば殆んど不用であるが一と坪當り油粕五十匁、過燐酸石灰三百匁ぐらゐを施せば十分である油粕は水に溶かして腐敗させて置いて發芽してから灌水の代用にするのもよい、灌水は開花の期には控へ目になし莢が出來てから十分に施すことが肝要である、また油虫や赤ダニなどが發生したる場合には直ちに二百倍乃至三百倍のネオトンへ石灰溶水を混ぜて撒布すれば驅除が出來る、

◇…以上…だけの簡單な心得でもつてしかも低溫で殆んど無肥料に近い容易な促成栽培で四、五莢づゝのたつた一本の枝豆が五錢から六錢と云ふ相場で中央市場に奈ひ合ひをされると云ふほどの好評も受けてゐるのだから有利な栽培であることは說明されずとも解るであらう（完り）

お醬油は……ヤマフル

醬油、味噌、たひら、正宗、鰹節、食料品

明治生命磐城代理店 山崎與三郎

鹽屋 山崎合名會社 電話 營業部一〇番 本店二七〇番

夏の洋服と帽子
夏の晴雨兼用傘

平市四町目 やるつ 電一四〇

大小の御宴會にホール
御家族の御同伴に御座敷
いつも材料を吟味して居ります

マルトモ食堂 平市四丁目（電話一二三番）

肋膜・氣管支・關節・神經痛・肺炎・ロイマチスへ
腎臓・膀胱・中耳炎・骨膜・腰痛ぢ疾に……
生公孝
藥價 九十五錢 二圓二十錢 四圓
福島縣平市五丁目角
……藥で治す
山野邊藥局

新治淋藥 ナトム 六〇七號

肉の御用命は
三三屋
牛も豚も優良品の自慢

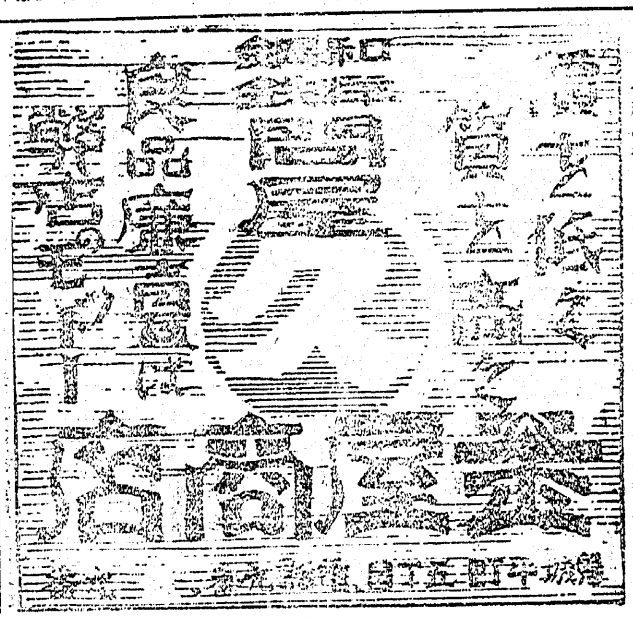
「貯蓄は無盡で」
大御 三仟圓
一歩一歩ゲ望の山
社交が淋しくならぬうち
無盡かけましよう今のうち
磐城無盡

平病院（平市元共濟病院跡）電話六四一番
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 院長 鈴木定藏
小兒科
內科 外科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
……診療時間 毎日午前八時より午後九時まで 夜間診療に從事す（急患は此のかぎりにあらず）

平田町（三丁目裏川岸通）
明治生命醫科醫院 電話六六九番
入院應需（自炊の更あり）

安田系統の帝國海上
帝國 海上 火災 保險株式會社
平代理店 事務取扱者 磐城 內藤正一 阿部助次郎 平市二丁目 電話一六番

便利で經濟な日下家政婦會の派出婦を御利用下さい
身元確かで品行方正ですから何をお任せしてもご安心です
平市一丁目三十一番地（電話七二三番）
日下家政婦會 會長 日下すい子
會員同志の御加入（派出なき閑暇に裁縫や編物をお教授致します）を御誘ひ致します



平第一小學校長 篠山廉著
大陸の旅
四六判百頁美裝本 口繪寫眞十數葉入 定價壹圓（送料共）
本書は福島縣教育會の長老として令名ある篠山廉氏が昨年秋、福島縣教育會の大陸視察團一行に加はつて、約一ケ月に亘り、鮮・滿・支の各地方を視察した際の見聞記である。篠山氏は本書に於て、教育家としての立場から彼地に於ける教育狀況、風俗、人情等を遺憾なく洞察描寫し、時に明快なる解答と鋭き批判を下して後人の參考となるところ尠くない。豊かな文藻と平易な表現と相俟つて興亞建設下の大陸諸事情を窺ふに絶好の書と信じ敢て江湖の必讀を切望する。
發行所 平市田町一七 磐城文化協會
發賣所 平市四丁目 マルトモ書店